



社会福祉法人

群馬いのちの電話だより

相談電話 027-221-0783

2019.6 Vol.64

編集/社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会 住所/〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号 電話/事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

平成から令和への『いのちの電話』

社会福祉法人群馬いのちの電話

理事 矢島 祥吉

今から30年前の平成元年（1989年）8月4日に高崎カトリック教会でホスピス研究会役員の会合がありました。役員の中に原田エク子さんがいました。彼女は群馬いのちの電話の開設を願っていました。私は原田さんに「今年11月5日に高崎南教会に着任する飯田義也牧師は、北海道旭川で『いのちの電話』を担当していた人で、あなたと一緒にやれるといいですね。」と伝えました。同年9月5日夜、原田さんから電話がありました。「神戸でいのちの電話の総会があり、隣に飯田牧師がいました。」とのことでした。彼女は本当に嬉しかったようでした。運命的な出会いであり、この二人が核となって、『群馬いのちの電話』設立に向けての準備が始まりました。

1990年1月に高崎教会で第一回の設立準備会が開催され、開局に向けて準備が着々と進められていきました。資金集め、相談員の募集等で役員の方々は大変苦労されました。その苦労が実り、1992年10月に全国36番目として『群馬い

のちの電話』が開局されました。それから今日まで、1日も休むことなく継続されてきました。

日本は80年代には輸出大国になりました。85年プラザ合意で円高が急進しました。86年から金融緩和を重ね、空前の金余りと、実態を越す資産価格の膨張（バブル）を招きました。日銀は89年から5回の利上げ、90年には大蔵省が不動産向け融資を規制し、バブルは株、土地の順にはじけていきました。官民とも不良債権の処理に追われ、大型倒産が相次ぎました。それと同時に自殺者はうなぎのぼりに伸びていきました。「いのちの電話」は全力をあげて対応してきました。最近では、以前からみれば自殺者は少なくなってきましたが、若年自殺者は急増しています。

これからの日本は、人口減少、少子高齢社会に突入します。ここでの問題は、1つは困窮化、特に単身高齢世帯の困窮化という問題。女性の場合は、未婚、離別、単身高齢女性の半分以上が生活保護受給水準以下の所得に進みつつある

ひとりぼっちで悩まずに……

相談電話

027-221-0783

相談受付時間 午前9時～午前0時（年中無休）

毎月第2・4金曜日は24時間受信

フリーダイヤル
（毎月10日）

0120-783-556

（8:00～翌8:00）

のではないかとということが予測されています。これにどのような対応をするかという問題があります。

2つ目の問題は、孤立化であり、単身世帯が急増していくと、1週間に一回しか口をきかなかった人が16.7%もいる結果（国立社会保障人口問題研究所の調査）があります。

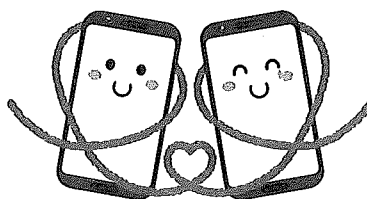
3つ目は多死社会に関わることです。死が隠蔽されたり、棚上げにされたりすることにつながりかねません。

4つ目には働く人達の減少により、外国人を導入し、共に生きて外国人の人権を尊重していかなければなりません。

そして5つ目は、国の借金は1,300兆円もあります。ともかく歴史的には未経験の未来に向

かって生きていかなければなりません。不安もあります。

しかし、私達は思いやる、慈しむ、分かち合うことで、人間という集団で生き残ってきました。これからも「いのちの電話」は新しい時代にいのちを守る希望をもって、その使命を果たしていきましょう。



相談件数 毎年どのくらい相談があるのでしょうか

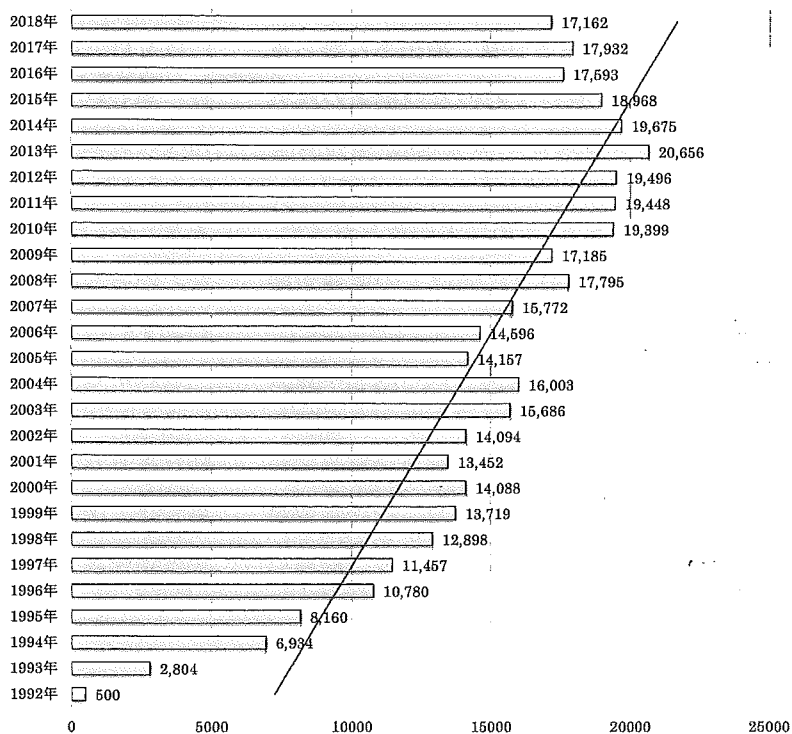
開局以来総受信件数 (1992年10月～2018年12月)	390,410件
2018年受信件数(1月～12月)	17,162件

相談件数の推移

2018年の1年間に、17,162件の相談を受けました。(1日平均47件)

社会的背景やフリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」24時間実施、通常電話月2回24時間受信、受信時間の延長(毎日0時まで)等の関係もありますが、近年スマートフォンの普及により、かけ放題料金プランの利用によりかけ易くなり、受信時間は増えました。

こうしたことから、いのちの大切さを共に考える「群馬いのちの電話」の社会的使命に大きなものがあると感じております。



注：いのちの電話の統計はすべて数値処理されており、個々の相談の秘密は厳守されています。